

お役に立ちます

この街が、好き。



野 村 地 区 金 融 懇 話 会

北陸銀行 野村支店
TEL(0766)24-6668 FAX(0766)23-4875

高岡信用金庫 野村支店
TEL(0766)22-6285 FAX(0766)24-8529

富山銀行 野村支店
TEL(0766)21-3535 FAX(0766)26-2143

高岡信用金庫 下田支店
TEL(0766)26-8500 FAX(0766)26-8503

富山第一銀行 中川支店
TEL(0766)24-6363 FAX(0766)21-4612

(順不同)



野村周辺地区の活性化と
魅力ある地域づくり

第69号 会報年頭のご挨拶

目 次

第69号会報年頭のご挨拶 西村会長	2
あいさつ市	3~4
青年部会・女性部会合同勉強会の開催	5
渡辺守人氏 富山県議会議長就任祝賀会	6
第21回会員訪問シリーズ～株式会社アイティリンク～	7~8
会員リレー	9
理事会開催	10
編集後記	10

**のむら商工振興会では
会員を募集しております。**

- *のむら地域で営業されている事業者あるいは当地にお住まいの方で、地域の活性化にご協力していただける思いをお持ちの皆さん、ぜひ、のむら商工振興会にご入会ください。最新地域情報の受発信や共有化、人的ネットワークを広げる場としても多くの学びがあります。
- *既会員の皆さまは、ぜひご入会していただきたい友人、知人の方をご推薦ください。仲間づくりと地域の輪を広げる活動にご協力をよろしくお願いいたします。
- *詳細につきましては、何なりと事務局までお気軽に問い合わせください。皆さまからのお電話、心からお待ち申し上げております。

 **のむら商工振興会**

高岡市三女子148-2 ☎0766-23-4442 FAX 0766-23-5006
E-Mail : nomura-shoko@crest.ocn.ne.jp



のむら商工振興会
会長
西村 博邦

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には健やかなる新春を迎えたこととお慶び申し上げます。

今年は昨年同様、ロシアのウクライナ侵攻に端を発したエネルギー・資源不足そして為替レートによる円安が全ての物価高騰を招いている経済状況、またコロナ感染症第8波に対処しなければならない社会状況は変わっていません。

そうした状況の中、昨年は創立35周年記念事業・あいさつの開催はかないましたが、コロナ感染症拡大の為サマーフェスティバルの開催は残念ながらかねませんでした。

今年はオミクロン株対応2価ワクチン接種の加速化により感染拡大が抑えられ全ての事業が開催できるよう願います。

おわりに、会員の皆様のご協力・ご支援をお願い致しますと共に今年1年皆様のご健康・ご多幸と企業の繁栄を心よりお祈り申し上げます。

第18回 あいさつ市

第18回『あいさつ市』が11月3日(木)に開かれ、JA高岡野村地区センター前を歩行者天国にし、JA高岡野村地区センター秋の収穫感謝『ふれあい市』と同時開催しました。

当日は晴天に恵まれ、協賛の方々の出店、収穫祭との合同で、地域住民同士や会員の皆さんとの交流を深め合いました。

ステージイベントでは、「いわせのコーラス」の合唱、「野村保育園年長児」の和太鼓演奏、「野村小学校ウインドアンサンブル」の演奏に来場者から大きな拍手が送られた。また、豪華景品が当たるbingo大会やジャンケンゲームも開催され、会場は大変盛り上りました。

収穫祭においては、用意された農産物は次々に完売となり、大盛況となりました。



青年部会・女性部会合同勉強会の開催



令和4年9月2日(金)18時より、高岡商工ビル10階会議室において、青年部会・女性部会の合同勉強会が会員20名の参加のもと、開催されました。

講師にイセ株式会社 代表取締役CEO伊勢豪範氏をお招きして、「中小企業のDX導入のポイント」をテーマとして、80分の説明に参加者全員聞き入っておりました。その後、講師を交えた懇親会も実施されました。



渡辺守人氏 富山県議会議長 就任祝賀会



高岡市選挙区選出の県会議員、渡辺守人氏の議長就任祝賀会が、令和4年7月24日(日)・9月17日(土)と2回に分けて、ホテルニューオータニ高岡で開かれました。

わたなべ守人後援会(八十島清吉後援会会长)が発起人となり、県選出国会議員や、渡辺氏と親交の深い国会議員、富山県知事、県内の各首長、経済各種団体長らが来賓として招かれ、新田知事、橋代議士、元経産大臣で自民党税制調査会長の宮沢参院議員、小林史明代議士から祝辞を戴き、支持者ら多数出

席のもと、盛大なお祝い・激励の会となりました。

渡辺氏は5期の活動を振り返った上で「2023年4月の改選の後、6期目は県政発展の為に若い政治家を育てて本質的な議論が出来る県議会にしたい」また、「ウイズコロナの時代に正面から向き合い、しっかりと経済・社会を回していく一翼を担って参りたい」と意欲を示しました。

渡辺氏は立教大卒で、高岡交通社長。2003年に初当選し、現在5期目。22年3月から富山県議会議長を務めています。



新田知事



橋代議士



宮沢洋一先生



小林史明代議士



角田市長



八十島清吉後援会会长
(株)タカギセイコー相談役

第21回 会員訪問シリーズ IT.Link 株式会社 アイティリンク

<https://www.itlink.jp/>



本 社 高岡市問屋町35番地
TEL 0766-29-1161
東京営業所 東京都千代田区神田平河町1番地
設 立 2004年12月1日
代表取締役 前波 強
従 業 員 28名



お客様のよろこびを、わが心のよろこびとする
進化し続けるIT業界において、技術や改革・スピードは、つ
ねに要求される課題です。
めまぐるしい変化に対応し、かつ、業界を先導する気概を
もって業務に注力してこそ、企業としての発展があります。
一方で、弊社は、InformationTechnologyの使い手である
お客様の"心"に寄り添うことを忘れません。なぜなら、
お客様のご要望に応えてこそ、良い「仕事」であり、とりまく
社会に貢献してこそ「働く」ことの充実と達成感を得られ
ると考えるからです。
株式会社アイティリンクは、人の心をより豊かにするため
の"価値"ある情報技術とサービス"を提供致します。



大事なのは、つねにお客様の話を聞くことです。これは、わ
が社の理念である「お客様第一主義」に直結する事です。
どんな仕事でも、マニュアルを見れば表向きはの仕事はで
きます。しかし、きちんと相手の話を聞いて、自分の言葉で
意思を伝え、納得してもらうというのは、なかなか難しい。
何事も、自身の"信念"があればこそ、信に人の心に響く仕
事が出来るのだという事をわが社の社員に理解してもら
いたいと思っています。



—アイティリンクの今後の展開—

今後の目標を達成するには、自社パッケージである「Flex Designer For ログハウス 木らり」が基軸となり、そこで習得した技術を世の中に広く発信していくことによりわが社の存在感があります。
また、時代の変化は、誠に早くIT業界でもタブレットやスマートフォンを使用したシステム開発やWebシス
テム・DX化をご提案していく所存です。
(DX化とは、「データやデジタル技術を活用して競争上の優位性を確立できた状態」を指す言葉で「Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)」の略称です。)

業界初の革新的システム「FlexDesigner for ログハウス 木らり」



地域の皆様と共に

高岡信用金庫下田支店 支店長 甚吾 光治



高岡信用金庫下田支店は、平成4年6月に開設させて頂き、開設後30年が経過いたしました。このように長い間この地で営業できましたのも、地域の皆様方並びにのむら商工会の皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

私は、平成25年からの3年間野村支店に在籍し、令和4年8月に下田支店へ赴任してまいりました。野村地区の皆様の旺盛な活力は野村支店在籍時と何ら変わりなく、再びこの地で皆様と共に成長をさせて頂けることに感謝しております。

現状、経済面においてはコロナウィルスの公衆衛生上の措置解除に伴い人流が増加。小売業や飲食店・宿泊業の対面サービスの持ち直しが見

られます、世界的な物価高騰により企業収益や個人消費に及ぼす影響については引き続き注視が必要であり、まだまだ我々が抱える問題は多いと考えております。

高岡信用金庫は「地域の皆様と共に生き、地域の皆様と共に繁栄すること」が理念であります。この地で、皆様と共に経営や生活の課題等を解決するため、そのよき相談相手に選んでいただけますよう、下田支店職員一丸となって日々精進してまいります。

今後とも末永くご愛顧のほど、よろしくお願い致します。



理事會開催



令和4年9月13日(火)17時30分より、高岡市立野村公民館において理事会が役員多数出席のもと、開催されました。

第18回あいさつ市の開催や新規会員の承認が議決されました。

新入会員

(有)市山 代取 市山 勇樹(砺波市高波1069)

編集後記

●塩谷雄一直前会長が2022年度の県功労(産業経済)、畠山遵理事が同(教育)表彰に選ばれ表彰されました。なお、畠山氏は高岡市功労としても表彰されました。

(広報部会一同)

■ 未来に必要とされる看板を

株式会社西川構装社 代表取締役 **村田 善寛**



株式会社西川構装社は絵書きの看板屋からスタートしました。

時代が変わっても、お客様のニーズ、夢・希望を看板に表現して伝えていければと考えております。

弊社は昭和25年、先々代の西川晃司が創業しました。手書きの看板で、地域の皆様の心と高岡の街を彩って夢を届けてきたその精神は、先代西川繁男・現社長村田善寛共々、今も受け継いでおります。

のむら商工振興会様にお誘い頂いたきっかけは、創立30年の記念事業である、道路の愛称プレート製作のご依頼を頂いたことです。野村・定塚小学校の皆さんを考えられたという道路名を表現するため、イメージに合わせた色のプレートに特殊なシートで作った切文字を貼り、電柱や照明ポールに取り付ける施工を致しました。弊社としましても初めての試みであり、この先長きに渡り受け継がれるであろう、地域の皆様の手で作られた新しい案内板に携わることが出来、光栄であります。

落ち着いてきたとはいえ、コロナ禍の続く今日です。弊社のもう一つの柱であるイベント産業はまだ大きな影響を受けていますが、つらい時こそチ

ヤンスだと考え、将来のエコ・環境にやさしい、新型UV大型プリンタを導入致しました。

我々はここ高岡で、そして未来に必要とされる看板(サイン)を皆様にご提供し続ける企業を目指してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



■ 伝統工芸高岡銅器の魅力を伝えていきたい

有限会社モメンタムファクトリー・Orii 代表取締役 **折井 宏司**



弊社は1950年(昭和25年)高岡銅器の最終工程である着色行う「折井着色所」として創業。

創業当時は火鉢、花瓶などの着色を主に手掛け、高度成長期からは仏像、仏具、ブロンズ像、お茶道具、干支置物、朱肉入れなどの記念品と幅広く高岡銅器の着色を担ってまいりました。3代目である私は平成8年に家業を継ぎましたが、バブル崩壊後の大打撃で高岡銅器の需要が激減していることから、自社製品の開発に取り組みだしました。伝統的な着色技法にはぬか焼き・オハグロ・煮色など様々な技法がありますが、その着色技法を応用し、2000年(平成12年)に厚さ1mm以下の薄い圧延銅板への新たな発色技法を確立しました。そのことにより高岡銅器の着色をインテリア用品・建築建材へ応用した自社オリジナル製品の製造販売をスタート。始めたころは売り先もほとんどなく、県内のインテリショップに委託して取り扱いをしていただきましたが、徐々に販路を広げることができ建築部材として東京の商業施設の壁面材として採用されたことをきっかけに取引先も増えてまいりました。銅・真鍮製品の製造販売を強化するため2008年(平成20年)有限会社モメンタムファクトリー・Oriiとして法人化。高岡銅器の発色の美しさを今までにはなかった世界へ発信することで新たな市場開拓をすることができました。近年では、唯一無二の弊社が開発した発色銅板の紋様を高画質な画像として取り込み、様々な繊維生地に転写し、スーツの裏地、ネクタ

イ、トートバッグ、浴衣、スカーフなどファッションアイテムの開発にも取り組み始めております。今後さらに異業種とのコラボを進め、伝統工芸高岡銅器の魅力を一人でも多くの方に伝えていきたいと思っております。

今後とものむら商工振興会の皆様、よろしくお願いいたします。

●本社工場・ショールーム

〒933-0959 高岡市長江530

●Orii gallery八ノ蔵

高岡市小馬出町6 山町ヴァレー内

●T·OCUL

高岡市下黒田イオンモール高岡 西館1F

●東京ショールーム

東京都港区新橋4-3-5アトムCSタワー1F内

